

令和2年度 県立鏡が丘特別支援学校 浦添分校 自己評価(教諭・介助員)の結果 11月7日現在

◎ 次の評価基準により評価する。

4 十分達成できた	3 ほぼ達成できた	2 あまり達成できなかった
1 達成できなかった(見直しの必要あり)		? わからない

配布数 (9)	回収数 (9)	回収率 (100%)
---------	---------	------------

項目	No	具体的評価項目	評価(人)					平均評価点 (前年度)	評価点の平均が高い項目(3.5以上)の理由 及び、低い項目(3.0未満)についての理由及び改善策
			4	3	2	1	?		
教育目標	1	学校教育目標及び学部目標の達成を意識して、学習計画・学習指導に取り組んでいるか。	7	2				3.8 (3.6)	・目標達成に向けて、特に合同の授業に於いて、授業後の振り返り(反省・評価)や単元の振り返りを行い、生徒の変容を教師間で共有する作業を丁寧に行っている。 ・学習計画の工夫・改善を、生徒の変容を共通理解しながら行っている。
教育課程 年間指導計画	2	教育課程及び年間指導計画は、児童生徒の実態に即し、適切に設定されているか。	7	2				3.8 (3.7)	・毎年、年度初めに自校に合わせた指導について、オリエンテーションを行っている。 ・教育課程に関する研修を係が受けて、学部を持ち帰って研修を行っている。 ・年間指導計画も複数の教師で、意見を求めながら作成している。
個別の教育支援計画	3	個別の教育支援計画は、児童生徒個々の実態に即し、保護者や関係機関の意見・要望等も踏まえて作成されているか。	6	3				3.7 (3.8)	・年度初めに各生徒に対する「保護者の願い」「療育園の願い」を保護者や沖縄療育園に記入してもらい、保護者の願いを踏まえて個別の教育支援計画を作成している。 ・療育園との医教連絡会においても、全員の教育支援計画や指導状況を確認している
指導・支援全般	4	児童生徒の実態に即した指導体制のもと、適切な支援ができていくか。	4	4	1			3.3 (3.7)	・研修部を中心に児童生徒への適切な支援の在り方について、研修を重ねているが、コロナ禍による、活動範囲の制限(ゾーニング)によって、2つのエリアに区分され、教諭の行き来ができないため、生徒の実態や変容を、直接確かめて、共通理解することが難しくなっている。 ・改善策としては、授業後の振り返りで生徒の様子を伝え合う、休み時間にお互いの指導について助言し合う、サポートブックの利用での検証で、丁寧な指導・支援が継続できるようにしていく。
学校行事	5	学校(学部)行事は、ねらい、活動内容、運営方法等が適切で、全職員の共通理解のもと、効率的に実施できているか。	5	4				3.6 (3.8)	・学校(学部)行事は、児童生徒の実態を考慮し、活動内容や実施時期について検討し、確認・協働のもとで運営・実施している。
	6	学校(学部)行事は、事後の反省を十分に行い、絶えず課題の改善に努めているか。	7	2				3.8 (3.9)	・学校(学部)の行事毎に、アンケート(反省)を取り、結果をもとに会議で検討、改善を図り、行事の実施の改善を行っている。
生徒指導	7	沖縄療育園及び保護者との連携を図り、児童生徒が意欲的で明るい生活が送れるよう生徒指導を行っているか。	6	3				3.7 (3.8)	・毎月の沖縄療育園との医教連絡会で生徒の情報交換を実施している。保護者には、電話や学校だより等で学校の様子を伝え、相互の連携を心がけている。
キャリア教育	8	児童生徒のニーズや特性を重視し、実態に合った目標や指導内容となっているか。	5	4				3.6 (3.8)	・キャリア教育は、研修部が肢体不自由の重度の児童生徒の在り方について、研鑽を積んでいる。日々の学習活動は、卒業後も見据えた、児童生徒の生活を豊かにするような視点ももちながら実施している。

項目	No	具体的評価項目	評価（人）					平均評価点 （前年度）	評価点の平均が高い項目（3.5以上）の理由 及び、低い項目（3.0未満）についての理由及び改善策
			4	3	2	1	?		
保健・安全 環境整備	9	保健・安全に関わる業務は、各学部、部署との連携を図りながら適切に運営されているか。	8	1				3.9 (3.9)	・内科・歯科検診、生徒全員に対する救護訓練、避難訓練、毎月の安全点検等、保健安全部を中心に、着実に実施している。
	10	非常時及び緊急時に敏速かつ適切な対応がとれる体制が整っているか。	3	5	1			3.2 (3.8)	・避難訓練、不審者侵入対策訓練等の緊急時に備えた訓練を実施している。より 実際場面に近い状況を想定したため、反省点が多く出て、職員の非常時に対する 危機意識は、高まったが、評価は厳しい数値となったと見られる。 ・（評価2の理由）具体的記述はない。
	11	校舎内外の危険箇所の発見に努め、施設・設備・備品の保清・管理・営繕等は適切になされているか。	2	7				3.2 (3.3)	・各窓の施錠部分に老朽化が見られる箇所があり、改善の余地が見られる。 ・安全点検の各部署の結果を受けて、修繕の要求をしていく必要あり。
	12	児童生徒の実態に即した校内環境や教育活動に必要な施設・設備は整っているか。	4	5				3.4 (3.8)	・前年度より評価が0, 4下がった理由として、コロナ禍になり、校内でも療育園 に合わせて、病棟毎の活動範囲の制限（ゾーニング）をしたため、制限区域毎 の施設・設備の充実がより一層求められたた為とみられる。

項目	No	具体的評価項目	評価(人)					平均評価点 (前年度)	評価点の平均が高い項目(3.5以上)の理由 及び、低い項目(3.0未満)についての理由及び改善策
			4	3	2	1	?		
家庭、沖縄療育園、 地域との連携・協力等	13	保護者に対し、適切で真摯な対応がなされ、連携・協力ができているか。	5	3	1			3.4 (3.6)	・コロナ禍により、保護者の来校や授業参観の機会は、大きく制限された。 保護者へ学校での活動が、十分伝わるような工夫や努力が必要とされている。 ・(評価2の理由) 具体的記述はない。
	14	PTA活動(総会、評議委員、研修会、合同清掃、スポーツ大会)の取り組みは適切に運営されているか。	5	3			1	3.6 (3.3)	・PTA総会は書面により、承認を得たものの、研修会や合同清掃、スポーツ大会等はコロナ禍により、軒並み中止となっている。評議員会は、書面により、各評議員へ、教育活動の様子を伝えている。
	15	地域のセンター校として沖縄療育園との連携・協力及び地域との交流や施設の活用がなされているか。	4	5				3.2 (3.5)	・地域のセンター校としての連携・協力及び地域との交流や施設の活用について、沖縄療育園との連携はできている。地域の「あいのそのこども園」との交流会は、ビデオ録画による交流となったものの、継続して行われている。今年は、例年行われている、教材教具展での公開が、コロナ禍により中止となったので次年度へ向けて準備していく。
校内研修	16	学校の課題や職員のニーズに対応した研修が実施されているか。	7	2				3.8 (4.0)	・療育園のPTIによる個別の研修や、外部講師としてOTを招聘するなど、研鑽を積んでいる。客観性のある指導に取り組んでいるが、今年十分できなかった学校の課題、職員のニーズに応える研修を今後企画していく。
	17	研修の成果を児童生徒の指導計画の作成、指導の展開等に生かすことができているか。	6	3				3.7 (3.5)	・研修の成果は、日々の学習活動に活かされている。学習内容の幅は広がりつつあり前例にとらわれない新たなアイデアをだしての授業作りに着手している。
各部署の運営や連携	18	学校の各学部、部署と事務部とは、互いに連携・協力が図れているか。	6	2	1			3.6 (3.6)	・「チーム浦分」をモットーに少人数の良さを活かして、各部署、事務部との連携もとりながらの協力体制を敷いている。連携強化の手立てとしては、報告・連絡・相談を日々怠らず、チーム内での意思の疎通を大切に習慣をつけることが肝要と見られる。
校務・学部分掌	19	校務・学部分掌は適切で、機能しているか。	3	4	2			3.1 (2.3)	・職員数の減に伴い、校務分掌の精選や、業務の効率化、行事の精選を行ってきた。校務分掌の精選や削減を進めて、効率的に校務を遂行する必要がある。 ・職員数、学校規模に合った校務・学部分掌の精選・見直しを丁寧に行いつつ、効率的な業務の在り方を推進する必要がある。 ・校務分掌検討委員会等で、業務の精選を図る。
服 務 等	20	法令遵守(コンプライアンス)意識をもって業務に取り組んでいるか。	7	2				3.8 (4.0)	・「教職員の綱紀粛正と服務規律の確保」について、適宜配付され、啓発はなされている。日々、連絡を密にして、法令の遵守と、危険の回避に努めている。
	21	児童生徒の人権に配慮した対応や指導がなされているか。	6	3				3.7 (3.6)	・児童生徒の人権に配慮した対応や指導体制は、「本校のいじめ防止基本方針」に謳われ、人権に配慮しているが、油断せずに継続・推進することが肝要。